

令和7年度 目黒区立向原小学校 学校グランドデザイン

Research : 各種調査等による実態

- 【学校】 各学年2学級／児童数279名（5／1現在）
- 【児童】 生活面では、多くの児童は素直で落ち着いている。各学年に支援の必要がある児童がいる。
学力面では、ほとんどの学年・教科で全国平均正答率と同等以上であるが、一部の学年・教科に課題がある。
体力面では、学年により、学校平均が全国平均に達しない項目がある。
- 【保護者・地域】
学校の教育活動に対して、理解し、協力的である。学校評価・アンケート・区民の声で学校への要望は寄せられている。
- 【40分授業・午前5時間制】
児童・保護者・教職員に制度として定着している。趣旨の理解・啓発や質の向上を図る必要がある。

校長の経営方針

- 教育方針 ～学級経営の安定・教科等の授業の充実・研究開発の推進による、
児童が自ら学び進める力の育成～
- 学校像 魅力と活力にあふれ、信頼される学校
児童像 互いのよさを学び合い、高め合う児童
教職員像 専門性と協働性があり、信頼される教職員
- 文部科学省研究開発学校 40分授業午前5時間制＋生み出した時間の活用

目指す児童像 【教育目標】

- ◎かかわりを大切にする子
- よく考える子
○じょうぶな子
○やさしい子

40分授業・午前5時間制を生かした

カリキュラムマネジメント

教育課程の重点

公立小学校に求められる基本的な教育活動の確実な実施

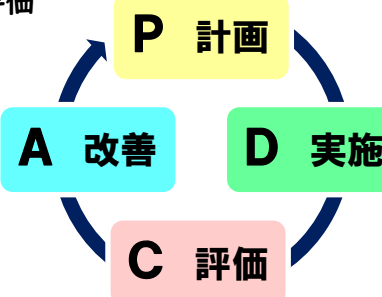
- | | |
|---|--|
| ○かかわりを大切にする子
自他を尊重する心、協働性の育成
○よく考える子
確かな学力の育成、自己調整力の育成
○やさしい子
生活規律の定着、豊かな情操の育成
○じょうぶな子
運動能力向上、心の教育・食育の推進 | ○研究開発
授業デザイン、自己調整学習の開発
○社会に開かれた学校づくり
学校公開、保護者・地域との連携協働
○小中連携
義務教育9年間の円滑な接続
○教育課題
学力向上（習熟度別指導、教科担任制）、ESD、特別支援教育などの実施 |
|---|--|

学校評価

<改善検討組織>

- 教務部
○生活指導部
○特別活動部
○研究推進部
○各行事委員会

【特設】
運営委員会
ICT推進



対象	評価指標	目標値
児童	目黒区学習状況調査（2～6学年国語・算数）	確かな学力の定着について 校内正答率が全国平均正答率と同等以上の教科を前年より増加
	東京都体力・運動能力、生活・運動習慣等調査	運動習慣・能力、健康づくりについて 全国Tスコア50以上の種目数を前年より増加
	i-check（子どもが安心して学ぶための総合的評価）	子どもの心の安全・学級の認め合いについて 全学級の散布図A領域の児童の割合を全国平均と同程度以上
	四者による学校評価（上・下学年）	学校の教育活動について 肯定的な回答の割合80%以上の項目数を増加
保護者	四者による学校評価（保護者）	児童の様子・学校の教育活動について 肯定的な回答の割合80%以上の項目数を増加
地域	四者による学校評価（地域）	児童の様子・学校の教育活動について 肯定的な回答の割合80%以上の項目数を増加
教員	四者による学校評価（教員）	児童の様子・学校の教育活動について 肯定的な回答の割合80%以上の項目数を増加

<向原小学校教育計画>

【40分授業午前5時間制】

- ◇指導内容の精選と重点化・指導計画の改善
◇40分授業のデザイン
- 問題解決の見通しを振り返る指導の充実（算数科）

知識・技能

思考・判断 表現

学びに向かう力 人間性等

【生み出した時間を生かした教育活動】

◇チャレンジタイム(20分)

- 「児童が自ら学び進める力の育成」
- 学習問題・課題・学習方法の選択
 - 見通し・実行・振り返り
- 児童の発達を考慮して、段階的に計画・実践する
1～3年/月・木・4～6年/月・火・木

教育方針
学級経営の安定・
教科等の授業の充実・
研究開発の推進による、
児童が自ら学び進める力
の育成

教務部

- “創意工夫ある教育課程”
- 年間行事の精選
 - ・目的の再確認や効率化で最適化
 - 各教科の年間指導計画の再構成による時数の確保
 - ・標準授業時数内での計画的な指導
 - ・生み出した時間（裁量の時間）の活用
 - 生活時程の工夫でゆとりある生活
 - ・集会活動を昼の時間に設定
 - ・移動準備の時間の設定
 - ・週末の午後の時間の有効活用
 - 確かな学力の育成
 - ・指導内容の精選と重点化
 - ・教員個々のカリキュラムマネジメント
 - ・学習用情報端末の活用
 - ・4～6年一部教科担任制
 - ・チャレンジタイムの回数確保
 - ・ステップアップタイムで学習保障
 - ・学年末総復習の実施

研究推進部

- ～文部科学省・研究開発学校～
- 40分授業のデザイン
 - ・問題解決の見通しを振り返る指導の充実（算数科）
 - チャレンジタイムの実践
 - 「児童が自ら学び進める力の育成」
 - ・学習方法・学習課題の選択
 - 学級経営研修の実施
 - 20分研修の実施
 - ・教員研修 主任による講義
 - ・若手育成 自主的研修

特別活動部

- “児童が主体的・対話的・協働的に活動する学校行事や学級活動の実施”
- 異学年交流
 - ・たてわり班活動（月1回）
 - 児童会、クラブ活動
 - ・リーダーシップ／自治的活動
 - 学校行事での活躍
 - ・児童主体の企画立案
 - 学級活動の充実
 - ・問題解決、集団形成

生活指導部

- “児童が安心して学校生活を過ごすことができる人間関係・教育環境づくり”
- 自己肯定感、有用感を高める
 - ・児童一人一人のよさを認める
 - ・共に寄り添い一緒に考える
 - ・達成感、成功体験を重ねる
 - 互いのよさを認め合う態度の育成
 - ・よいところさがしの実践
 - ・構成的グループエンカウンター等
 - ・心身の健康づくり
 - 生活規律の定着
 - ・「向原のきまり」の習慣化
 - ・生活目標による行動変容
 - ・進んであいさつをする
 - ・語先後礼の励行
 - ・時間を守って行動する
 - ・話をしっかり聞く
 - 安心・安全である教育環境づくり
 - ・課題の共有と組織的な解決